

第6章

分析支援プログラムによる 分析

(質問紙調査とのクロス集計結果より)

「分析支援プログラム」を使って、児童生徒質問紙調査から見られる傾向を分析しました。また、教科に関する調査のデータも合わせて分析しました。

各学校においても自校の結果を分析し、研究成果の検証などにご活用ください。



「教師との関係」と「自分に対する考え」分析と傾向

【概要】

先生が「認めてくれた」という実感を持つ児童生徒ほど、「難しいことでも失敗をおそれずに挑戦している」「どちらかといえば、している」と肯定的に回答する傾向が見られた。また、「認められていない」と回答した児童生徒は、「挑戦していない」と回答している傾向が見られることから、認められることが挑戦への意欲につながっていると考えられる。

縦軸カテゴリー	昨年、学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれましたか。
横軸カテゴリー	難しいことでも失敗を恐れずに挑戦していますか。

横軸カテゴリー →

縦軸カテゴリー ↓

している
 どちらかといえば、している
 どちらかといえば、していない
 していない

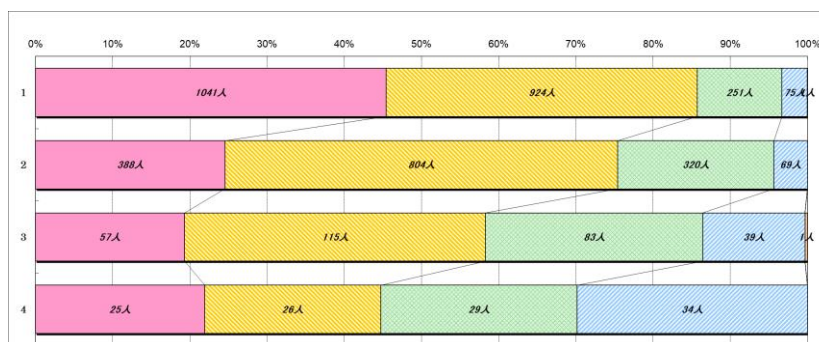
【小学4年】

認めてくれた

どちらかというと認めてくれた

どちらかというと認めてくれなかった

認めてくれなかった



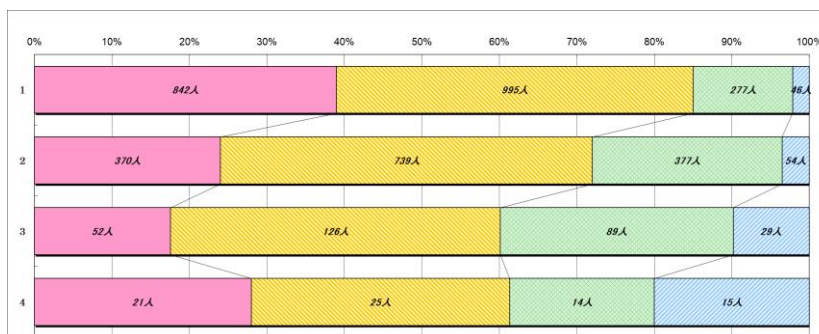
【小学5年】

認めてくれた

どちらかというと認めてくれた

どちらかというと認めてくれなかった

認めてくれなかった



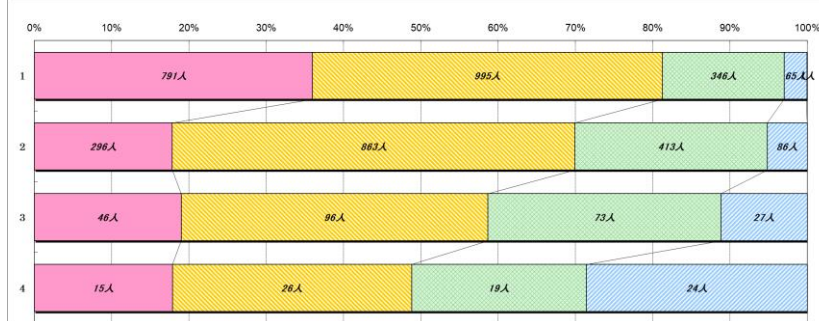
【小学6年】

認めてくれた

どちらかというと認めてくれた

どちらかというと認めてくれなかった

認めてくれなかった



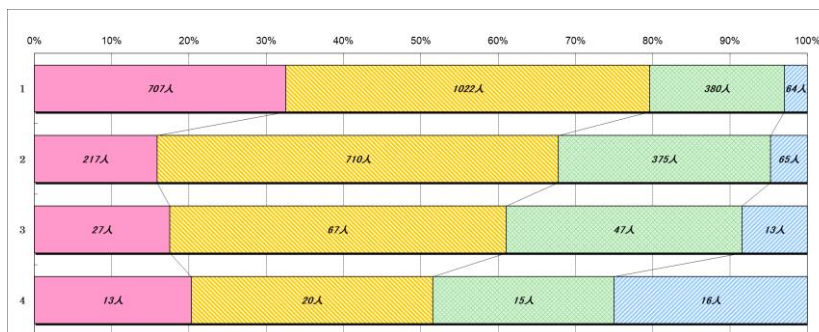
【中学1年】

認めてくれた

どちらかというと認めてくれた

どちらかというと認めてくれなかった

認めてくれなかった



「学級の雰囲気」と「学習の様子」分析と傾向

【概要】

「学級の生活が楽しかった」と回答した児童生徒ほど、学級は「落ち着いて学習する様子であった」と捉えている傾向が見られた。また、「学級での生活が楽しくなかった」と回答した児童生徒の半数は、「落ち着いて学習する様子ではなかった」と捉えており、落ち着いて学習できる環境があることが、学級での生活の楽しさにつながっていると考えられる。

縦軸カテゴリー	昨年、学級での生活は楽しかったですか。
横軸カテゴリー	昨年、学級は落ち着いて学習する様子でしたか。

横軸カテゴリー →

縦軸カテゴリー ↓

そうだった
 どちらかといえばそうだった
 どちらかといえばそうではない
 そうではない

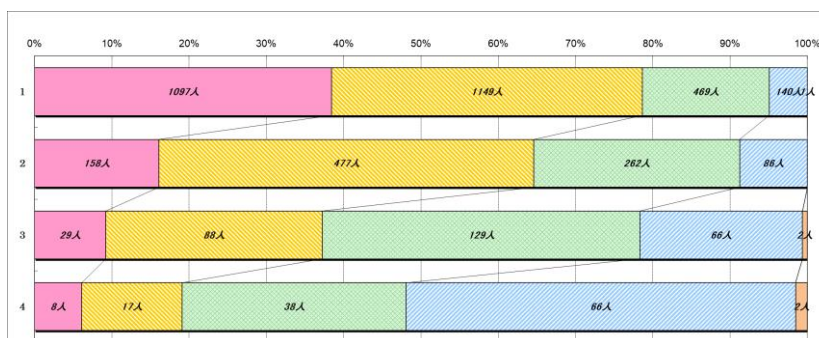
【小学4年】

楽しかった

どちらかといえば楽しかった

どちらかといえば楽しくなかった

楽しくなかった



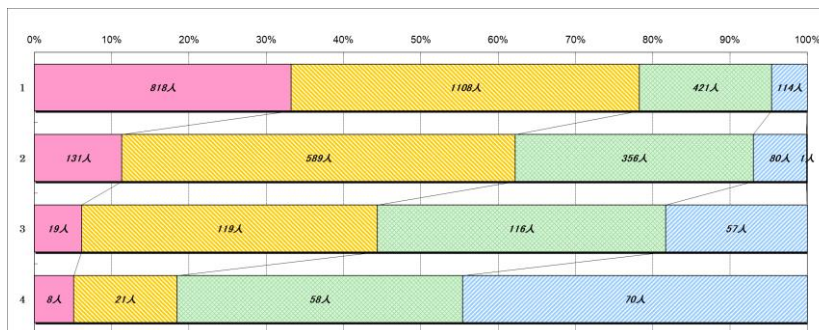
【小学5年】

楽しかった

どちらかといえば楽しかった

どちらかといえば楽しくなかった

楽しくなかった



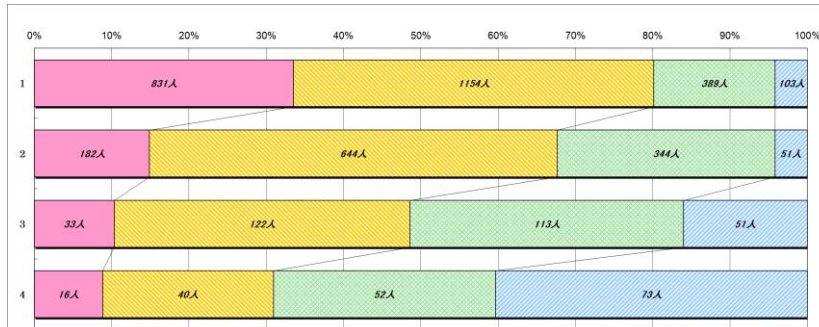
【小学6年】

楽しかった

どちらかといえば楽しかった

どちらかといえば楽しくなかった

楽しくなかった



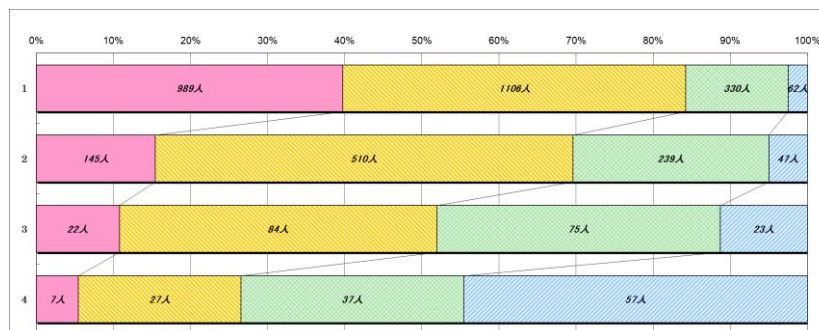
【中学1年】

楽しかった

どちらかといえば楽しかった

どちらかといえば楽しくなかった

楽しくなかった



「学習意欲」と「学力（国語）」分析と傾向

【概要】

勉強する理由に対して「勉強することが楽しい、好きだから」に「当てはまる」と回答した児童生徒ほど「国語」の学力が高い傾向が見られた。

学年が進むにつれて、「楽しい・好き」と回答する児童生徒が学力階層上位50%に入る割合が高いことから、「勉強することが楽しい・好き」と感じられるようにすることが、学力を伸ばすうえで重要であると考えられる。

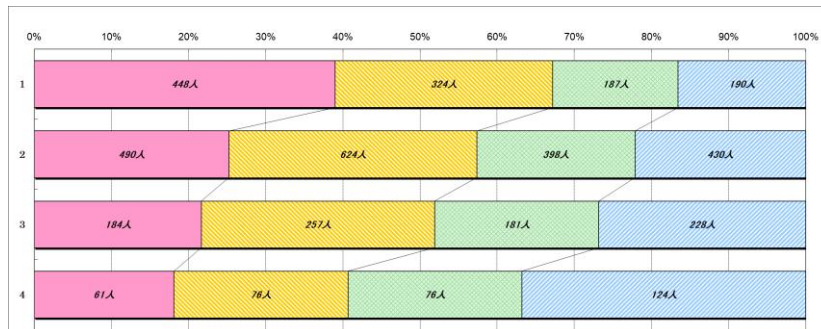
縦軸カテゴリー	【勉強する理由について、どのように考えていますか】 《勉強することが楽しい、好きだから》
横軸カテゴリー	学力階層 国語

横軸カテゴリー → 縦軸カテゴリー ↓

上位25%
 上位26-50%
 下位25-50%
 下位25%

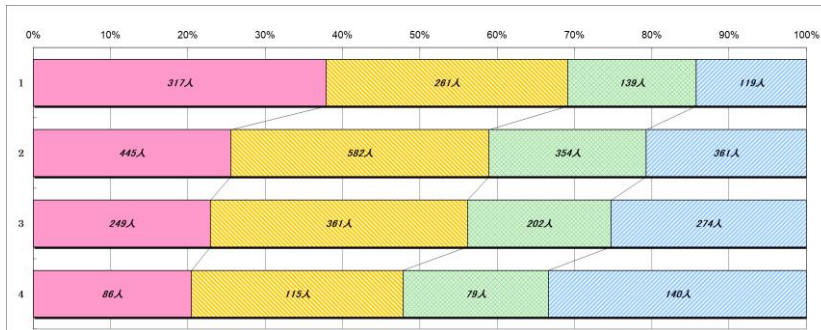
【小学4年】

- 当てはまる
- どちらかといえば
当てはまる
- どちらかといえば
当てはまらない
- 当てはまらない



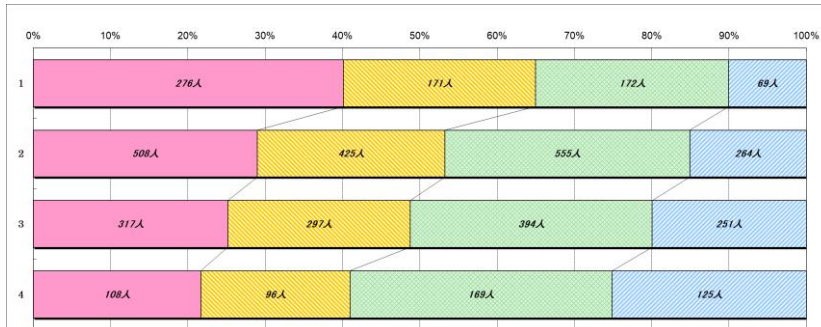
【小学5年】

- 当てはまる
- どちらかといえば
当てはまる
- どちらかといえば
当てはまらない
- 当てはまらない



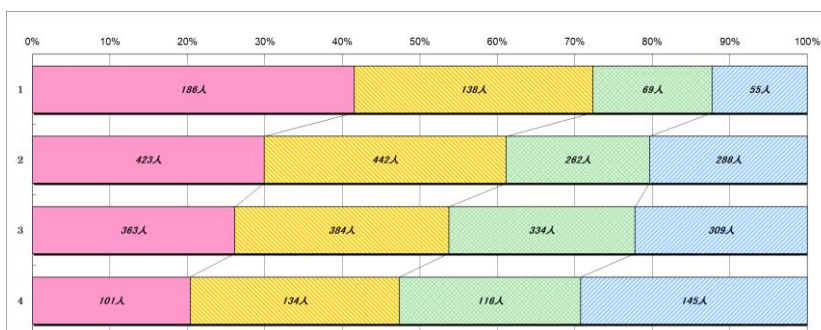
【小学6年】

- 当てはまる
- どちらかといえば
当てはまる
- どちらかといえば
当てはまらない
- 当てはまらない



【中学1年】

- 当てはまる
- どちらかといえば
当てはまる
- どちらかといえば
当てはまらない
- 当てはまらない



「学習意欲」と「学力（算数・数学）」分析と傾向

【概要】

勉強する理由に対して「勉強することが楽しい、好きだから」に「当てはまる」と回答した児童生徒ほど「算数・数学」の学力が高い傾向が見られた。

学年が上がるほど、「楽しい・好き」と回答する児童生徒の学力階層上位50%の割合と「好きでない」と回答する児童生徒の学力階層上位50%の割合との差が大きくなる傾向にある。学年が上がるにつれて、学習意欲と学力レベルの相関が高まると考えられる。

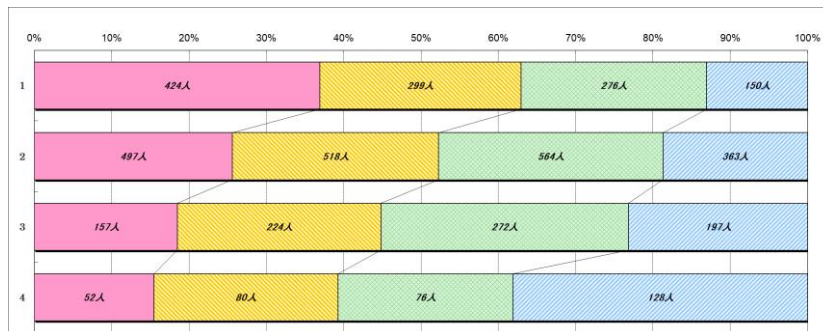
縦軸カテゴリー	【勉強する理由について、どのように考えていますか】 《勉強することが楽しい、好きだから》
横軸カテゴリー	学力階層 算数・数学

横軸カテゴリー →
縦軸カテゴリー ↓

上位25%
 上位26-50%
 下位25-50%
 下位25%

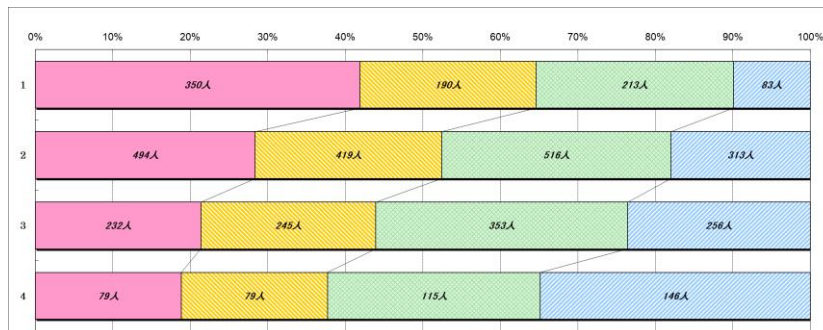
【小学4年】

- 当てはまる
- どちらかといえば
当てはまる
- どちらかといえば
当てはまらない
- 当てはまらない



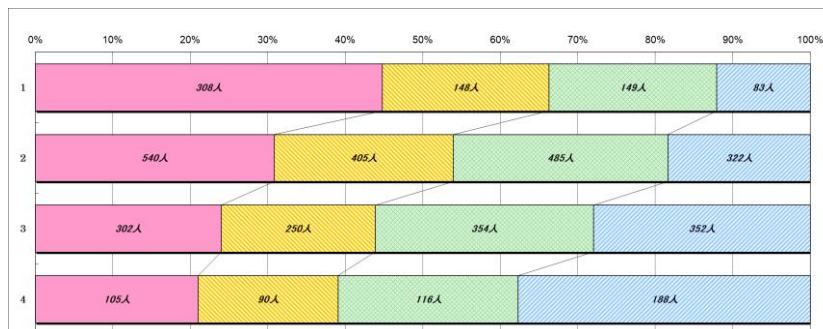
【小学5年】

- 当てはまる
- どちらかといえば
当てはまる
- どちらかといえば
当てはまらない
- 当てはまらない



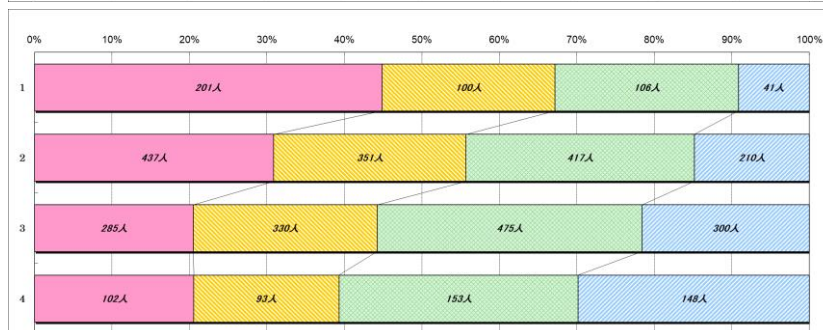
【小学6年】

- 当てはまる
- どちらかといえば
当てはまる
- どちらかといえば
当てはまらない
- 当てはまらない



【中学1年】

- 当てはまる
- どちらかといえば
当てはまる
- どちらかといえば
当てはまらない
- 当てはまらない



「主体的・対話的で深い学び」と「学力（国語）」分析と傾向

【概要】

「グループやペアで、話し合ったり、意見や考えを出し合ったりして課題を解決したこと」の質問について、「よくあった」「ときどきあった」と肯定的な回答をした児童生徒の方が、比較的学力が高い傾向が見られた。

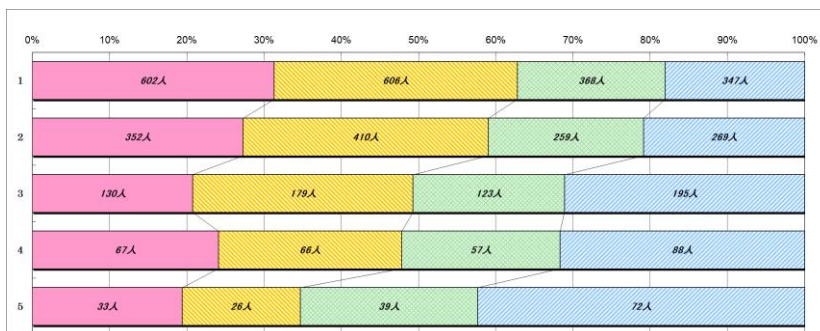
縦軸カテゴリー	グループやペアで、話し合ったり、意見や考えを出し合ったりして課題を解決したこと
横軸カテゴリー	学力階層 国語

横軸カテゴリー →
縦軸カテゴリー ↓

■ 上位25% ■ 上位26-50% ■ 下位25-50% ■ 下位25%

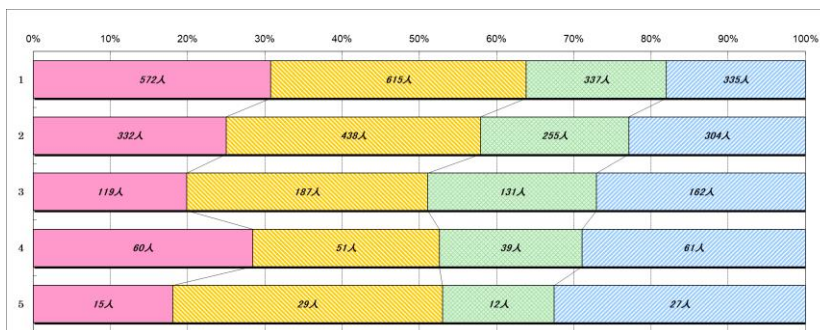
【小学4年】

よくあった
ときどきあった
どちらともいえない
あまりなかった
ほとんど、または全くなかった



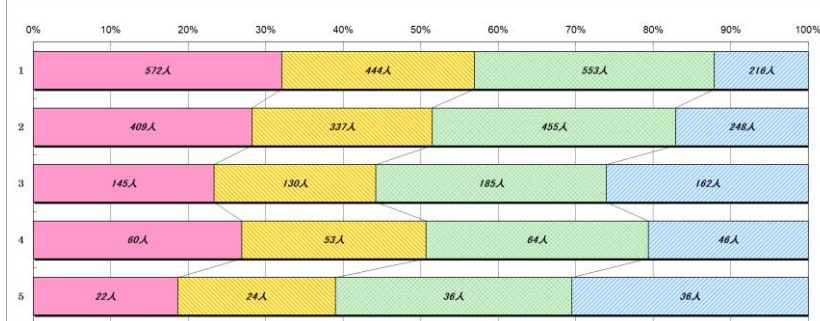
【小学5年】

よくあった
ときどきあった
どちらともいえない
あまりなかった
ほとんど、または全くなかった



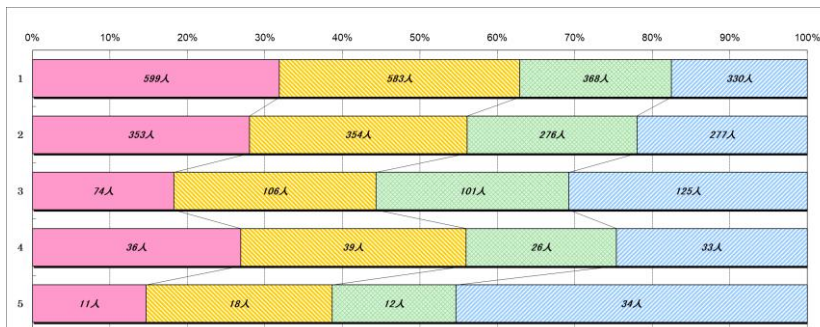
【小学6年】

よくあった
ときどきあった
どちらともいえない
あまりなかった
ほとんど、または全くなかった



【中学1年】

よくあった
ときどきあった
どちらともいえない
あまりなかった
ほとんど、または全くなかった



【概要】

「グループやペアで、話し合ったり、意見や考えを出し合ったりして課題を解決したこと」の質問について、「よくあった」「ときどきあった」と肯定的な回答をした児童生徒の方が、比較的学力が高い傾向が見られる。この傾向は、「国語」「算数・数学」とも共通している。

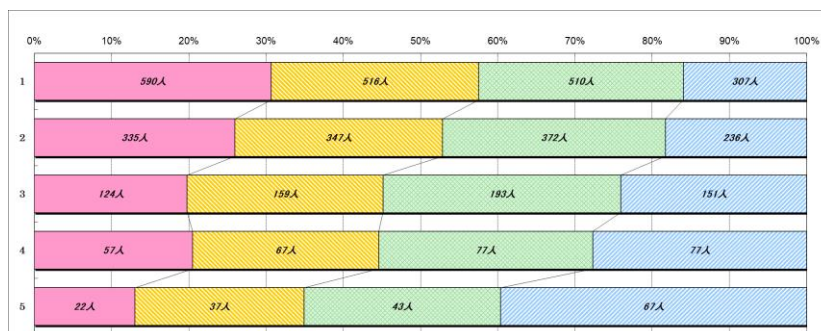
縦軸カテゴリー	グループやペアで、話し合ったり、意見や考えを出し合ったりして課題を解決したこと
横軸カテゴリー	学力階層 算数・数学

横軸カテゴリー →
縦軸カテゴリー ↓

■ 上位25% ■ 上位26-50% ■ 下位25-50% ■ 下位25%

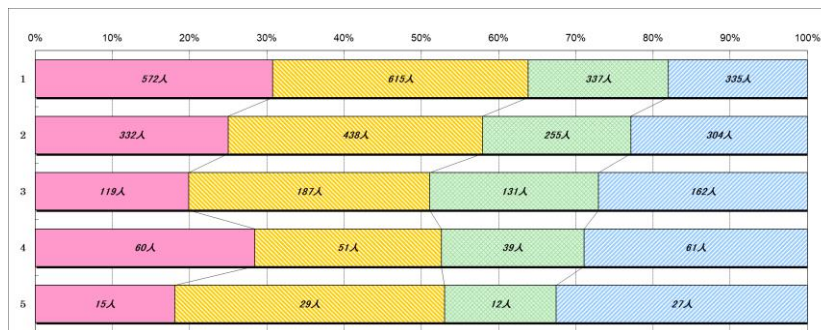
【小学4年】

- よくあった
- ときどきあった
- どちらともいえない
- あまりなかった
- ほとんど、または全くなかった



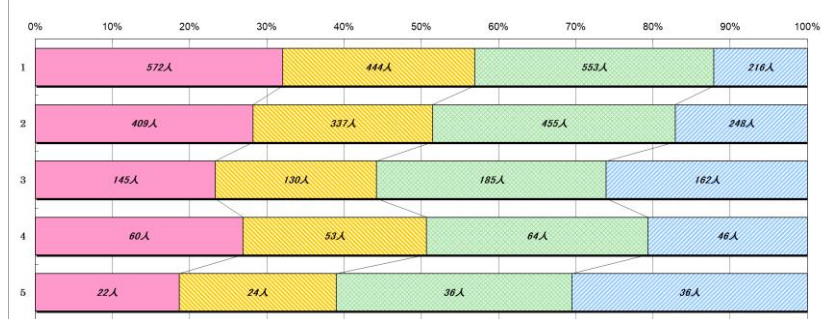
【小学5年】

- よくあった
- ときどきあった
- どちらともいえない
- あまりなかった
- ほとんど、または全くなかった



【小学6年】

- よくあった
- ときどきあった
- どちらともいえない
- あまりなかった
- ほとんど、または全くなかった



【中学1年】

- よくあった
- ときどきあった
- どちらともいえない
- あまりなかった
- ほとんど、または全くなかった

